



令和7年度施政方針

区政の持続可能な 未来に向けて

2月28日に開催した令和7年第1回区議会定例会本会議で、坂本区長が令和7年度施政方針を説明しました。
施政方針で示した予算編成・区政経営の方針、「3つの基本目標」に沿った主要事業の概要をお知らせします。

問合せ 政策企画課総合計画係 ☎ 3579-2013



予算編成・ 区政経営の方針

日本経済は、緩やかな回復が期待される一方、物価上昇や世界的な金融資本市場の影響などによる経済の下押しリスクなど、景気の先行きを十分注視していく必要があります。

このような中、予算編成方針では、特別区民税の増収や企業収益の改善などによる特別区交付金の増により、堅調な歳入環境を反映し、収支均衡予算となりました。

令和7年度は、「板橋区基本計画2025」と「いたばしNo.1実現プラン2025改訂版」を締めくくる最終年度であり、「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けて取り組んできた各種施策の集大成とするとともに、次期基本計画への橋渡しとなる重要な年度です。

そこで、令和7年度予算は「重点戦略の集大成と未来へつなぐ積極予算」と銘打ち、防災対策、老朽化が進む公共施設の更新需要、駅周辺のまちづくりなどの、中・長期的な課題にスピード感をもって的確に対応しながら、「SDGs(持続可能な開発目標)の取組を啓発から実践」へ、「デジタル化を革新」へ、「魅力を愛着と誇り」へとバージョンアップさせるための、積極果敢な予算編成としました。



令和7年度予算の 主要事業(概要)

基本目標Ⅰ 「未来をはぐくむあたたかいまち」

子育て安心

▶従来の母親学級・両親学級をリニューアルした「ウェルカムベビー講座」を実施し、全ての妊婦とパートナー・家族が安心して出産・子育てができる環境の実現をめざします。

▶育児支援ヘルパー派遣事業・産後ドゥーラ派遣事業の利用促進を図るため、一部無料で利用できる枠を新設するなど、個々の生活スタイルや要望に合わせた支援を展開します。

▶母親への支援と同様に、父親が育児に関する不安や悩みを相談できる「パパのためのこころの相談室」を実施し、早期に必要な支援につなげ、すべての子どもたちの健やかな成育を支えていきます。

▶令和6年度に試行した「いたばし子どもワークショップ」を拡充し、本格的に実施するなど、子どもの意見を聞く機会を確保しながら、次期「いたばし子ども未来応援宣言」の策定などに取り組みます。



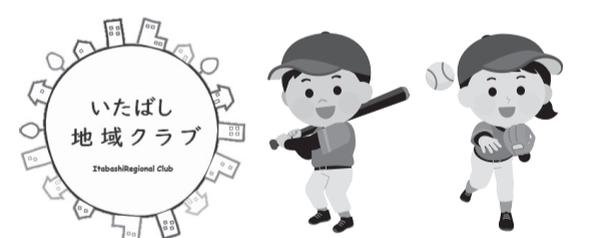
魅力ある学び支援

▶不登校児童・生徒へきめ細やかな対応を図るため、多様な学びの場として、校内に教室以外の居場所の整備を進めます。また、板橋フレンドセンターへ、通級が難しい児童・生徒を対象に、メタバース空間を活用した支援を導入し、個別支援につなげていきます。

▶区内二大学に、不登校児童・生徒の学校外の居場所としての「大学内居場所」を設置し、安心して過ごせる環境を提供することで学習意欲や社会的に自立する力を育てていきます。

▶学校部活動の地域移行においては、「野球クラブ」の創設や、学校部活動を教員に代わり部活動指導員が受け持つ「地域連携」の活用を通して、中学生のスポーツ・文化芸術活動を通じた成長機会の確保と教員の長時間労働の是正の両立を図ります。また、子どもたちの要望に応じた新しい種目・分野の個別クラブを創設するための「プレクラブ」を設立し、子どもの活動の場を拡充します。

▶子どもの相談対応、学習・生活指導の補助を行う「エデュケーション・アシスタント」を配置します。



安心の福祉・介護

▶「医療的ケア児(日常的に医療的ケアが必要な子ども)等コーディネーター」の配置や、子ども発達支援センターにおける相談窓口の設置、児童発達支援センターの相談機能の拡充などを通して、医療的ケア児とその家族などへの支援強化を図ります。

▶きょうだい児(重い病気や障がいのある兄弟・姉妹がいる子ども)の親同士の悩みを共有する交流会の開催などにより、新たな支援体制を構築します。

▶障がい者就労支援センターへの精神保健に関する相談員・「地域開拓促進コーディネーター」の配置を通して、障がい者への就労支援を行います。

▶民生・児童委員へ活動用のタブレットを配付することにより、業務の効率化・活動の負担軽減を図ります。

2面に続きます